

## EIP 特別セッション パネルディスカッション「EIP20年の軌跡と未来」

### 【テーマ】

情報処理学会電子化知的財産・社会基盤研究会（EIP）は、研究グループとしての第1回会合を1997年6月7日に開催し、その後研究会に昇格して1998年5月28日に第1回の研究会を開催している。それ以来、デジタル情報革命によって引き起こされる情報処理とその社会的側面の境界領域に焦点をあて、社会学、経済学、法的側面、工学の境界領域に属する問題をテーマとした理科系と文科系の研究者による議論の場として発展してきた。

2018年はEIPの研究会昇格後20周年にあたり、また今回は第80回の節目となる研究会となる。このセッションでは、EIPの20研究会設立20周年を記念して、歴代主査をパネリストに迎え、EIPのこれまでの歴史を振り返り、今後のあり方について議論するパネルディスカッションを開催する。

### 【司会】

- ・EIP 主査：原田要之助（情報セキュリティ大学院大学）

### 【パネリスト】

- ・安田浩（東京電機大学）
- ・岸上順一（室蘭工業大学）
- ・亀山渉（早稲田大学）
- ・山下博之（情報処理推進機構）
- ・金子格（東京工芸大学）

### 【議題】

- （1）歴代主査がEIPで特に力を入れたこと
- （2）現在の研究とEIPとの関係
- （3）今後のEIPへの期待
- （4）その他